

主務課：観測部環境気象課、気候・海洋気象部気候情報課、海洋気象課		関係課等：気象研究所		
業績指標名				
地球環境に関する気象情報の充実・改善		単位	現況値（時点）	目標値（年次）
オゾン層・温室効果ガス等の監視情報の充実・改善		件数	15 （平成12年度）	23 （平成15年度）
地球温暖化予測情報の提供		件数	4 （平成12年度）	7 （平成18年度）
関連アウトカム目標（関連施策等）				
地球環境の保全（オゾン層・地球温暖化等の地球環境に関する情報の充実・改善）				
<p>業績指標（オゾン層・温室効果ガス等の監視情報の充実・改善）の解説</p> <p>「オゾン層・温室効果ガス等の監視情報の充実・改善」とは、オゾン層・温室効果ガス等の各種情報で、改善または新規に作成・提供する情報の件数（平成9年度以降の累積）をいう。地球環境の保全促進等のための理解促進等を目的に作成・提供している、「オゾン層観測報告」等の定期的な観測成果等には、最新の科学的知見等を踏まえ、地球環境の状況をより正確に、わかりやすく伝えるため、各種の情報を改善または新規に掲載している。この改善及び新規掲載の情報の件数を充実・改善の指標とする。あわせて、地球温暖化対策やオゾン層保護を行う国際機関、政府関係機関等の施策等へのこれらの情報の活用状況をモニターする。</p>				
<p>業績指標（オゾン層・温室効果ガス等の監視情報の充実・改善）の目標設定の考え方</p> <p>オゾン層、地球温暖化に係る温室効果ガス等の状況の監視・解析に関する技術開発計画に基づき、平成14年度と15年度にそれぞれ4件の情報の改善・充実を目指す。</p>				
（参考）過去の実績値				（備考）
H 8	H 9	H 1 0	H 1 1	H 1 2
	5 (5)	8 (3)	11 (3)	15 (4)
				平成9年度以後の累積件数 括弧内は当該年度の件数
<p>業績指標（地球温暖化予測情報の提供）の解説</p> <p>「地球温暖化予測情報の提供」とは、新たな内容（温室効果ガスの排出シナリオの種類、モデルの解像度等）の地球温暖化予測情報を提供した件数（平成8年度以降の累積）をいう。地球温暖化予測情報は、地球温暖化が進行した場合に、気候等がどのように変化するかを予測した情報であり、温暖化防止に必要な国民一人一人の対策に寄与するのみならず、国土保全対策、水資源対策をはじめ各種計画策定に不可欠な情報である。</p>				
<p>業績指標（地球温暖化予測情報の提供）の目標設定の考え方</p> <p>現在、気象研究所に進めている、地球温暖化予測の高度化を図るための予測モデルに関する研究の成果を逐次取り込み、次のとおり、地球温暖化予測情報の充実を図る計画である。</p> <p>平成14年度：改良した全球モデルによる予測</p> <p>平成16年度：アジア域を主な対象として解像度を高めたモデルによる予測</p> <p>平成18年度：海洋の予測を同時に行う、アジア域を主な対象としたモデルによる予測</p>				
（参考）過去の実績値				（備考）
H 8	H 9	H 1 0	H 1 1	H 1 2
1 (1)	1 (-)	2 (1)	3 (1)	4 (1)
年率1%増のシナリオ		年率0.5%増のシナリオ	年率1%増でエーロゾルを考慮	年率1%増で日本付近の詳細予測
				平成8年度の提供開始以降の累積件数(括弧内は当該年度数) 提供年度には、温室効果ガスの濃度の年増加率などのシナリオ、モデル改良等の概略を記述